



# 日進北小だより

平成30年10月3日

第6号

TEL 048-663-1842

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する

## 1年間の半分が過ぎました

校長 宇佐見 弘幸

10月をむかえました。10月といえば季節は秋、秋になると大気が澄んで気持ちの良い空になることが増えます。秋晴れ、青空、日本晴れなど気持ちの良い空を表す言葉も多数あります。青空というと空そのものが青い色と思われがちですが、そうではないそうです。太陽の光線は、細かい空気の分子にぶつかって乱反射を起こして、四方八方あらゆる方向に散らばります。その中で、波長の短い「青」は、ほかの色よりもずっと広く散らばり、私たちの目に入って青く見えるのだそうです。また、秋は晴天が多いように感じますが、夏から秋になるまでの間には「秋霖（しゅうりん）」という秋の長雨があります。秋から冬にかけては「時雨（しぐれ）」というわか雨があります。昨年度の熊谷気象台の記録を見てみると10月は晴れが13日、曇りが13日、雨が5日と決して晴れの日が多いわけではないことがわかります。とんだ思い込みをしていました。思い込みと言えば、先日通勤途中のラジオで文化庁が実施した「国語に関する世論調査」について耳にしました。「撒を飛ばす」という慣用句について、本来の意味の「自分の主張や考えを、広く人々に知らせて同意を求めること」という回答が22.1%であったのに対し、「元気がないものに刺激を与えて活気づけること」という回答が67.4%という結果だったそうです。また、「なし崩し」については、「なかったことにすること」という回答が65.6%であったのに対し、本来の意味の「少しずつ返していくこと」という回答は19.5%だったそうです。私自身も恥ずかしながら本来の意味と異なる理解をしていましたので、ここにも思い込みがありました。

さて、学校生活で思い込みはないのでしょうか。できていることなのに自信をもてずに落ち込んでいるようなことはないのでしょうか。逆に、できていないのにできたつもりになって安心してしまっていることはないのでしょうか。学校での1年間は、4月に始まり3月に終わります。9月でちょうど1年間の半分が過ぎました。この半分が過ぎたこの時期に、できていること、できていないことについてぜひ見直しをしてみてください。そして、できていることについては自信をもち、できていないことについては適切に改善し、今年の残り半分を有意義なものとしてください。

9月は1日（土）には第2回ワーキングボランティアを実施しました。校庭の状態が良くなかったので、窓などの掃除ということになりましたが、大変きれいになりました。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。29日（土）にはあいにくの雨になってしまいましたが、第68回秋季大運動会を実施しました。保護者の皆様、地域の皆様にたくさんのご声援をいただきました。近隣の皆様方には、練習から当日まで大変ご迷惑をおかけしました。日頃よりご理解とご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。今後とも、よろしく願いいたします。